

事業所名

障害児通所支援 クレヨンの家

支援プログラム

作成日

R7年

1月

21日

法人（事業所）理念	明るく楽しい日常生活の中で、家庭的な雰囲気を大切にしています。ご利用者様お一人お一人のニーズに合わせた支援、及びご利用者様の権利を擁護するとともに、ご利用者様本位のサービスの提供を基本とし、地域に開かれた施設づくりを目指しております。				
支援方針	日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、また、生活能力向上のために必要な支援を行い、社会との交流を図ることができるようにします。子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、発達の個人差を踏まえて、一人一人の心身の状況を把握しながら育成支援を行います。				
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・帰所時に検温・体調確認を行います。始まりの会時にその日の体調について尋ね、自分で身体の具合（いつもと違う等）に気づいてもらえるように支援しています。その都度、水分補給を促し、必要性について理解してもらい、習慣化を図ります。 ・始まりの会でその日のスケジュールについて話をし、ルールや約束事を伝え、その時々で意識してもらうようにします。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、理学療法士監修の下、子どもの基本とする36の身体の動きを取り入れたサーキットメニューに取り組み、色々な身体の使い方を学びます。できるようになることで個々の自己肯定感を高めていきます。 ・ビジョントレーニングを取り入れ、視覚機能を鍛えることで集中力や読み書きする力、運動能力の発達を促していきます。 ・集団活動のゲームには身体を使った運動や座って思考力を育てる内容を取り入れ、楽しんで参加できるようにしています。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のスケジュール（流れ）を習慣化することで、子ども一人一人が時間やルール（順番等）を習得することができるようにしています。 ・工作やおやつ作り等、グループで行う時は道具使用や物品配布の順番を待ったり、材料のみを提供することで自由に創作することを経験してもらいます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々で会話で場に合った適切な話し方等を伝えていくようにしています。 ・集団活動のゲームや遊びの中で、相手にきちんと自分の思いや考えを伝えることができるように支援します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に人間関係のトラブルの振り返りをしたり、日常生活の悩みや困りごと等を聞いて助言したり、必要な時はソーシャルスキルトレーニングを行います。 ・集団活動を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方等を学んでもらいます。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、取り組んだ活動内容をご本人の様子を交えて連絡票に記載し、保護者に確認していただきます。 ・ご本人の様子で気になることがあった場合は保護者に報告し、自宅での様子を聞くようにしています。 ・関係機関と連携を取り、子供が良い方向へ向かうように支援体制を整えます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に子供の発達評価を行い、保護者の意向確認を取り、状況共有を行います。 ・他の関連機関と連携を図り、支援体制を整えます。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設を利用したり、地域資源を活用しています。 ・学校や行政機関等と連絡を取り、必要時は連携会議等を行って情報共有しています。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上、専門的な研修（子どもの特性に応じた研修）に参加している。他、法人内研修や虐待防止研修等を行っている。（オンライン・集合・Youtube研修） 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じて、花見・納涼・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・お楽しみ会（ドライブ・ゲーム・工作・調理・買い物等を実施）等を行います。 				